

①がん予防

| 個別施策       | 指標  | 出典                     | 目標値   |
|------------|---|------------------------|-------|
| 1 たばこ対策の充実 | ①市町村が主体となった普及啓発の推進<br>・企業や団体等と連携した普及啓発<br>・各種保健事業を活用し、禁煙支援及び受動喫煙に対する普及啓発<br>・広報紙、ホームページ、SNS等を活用した情報発信<br>・エビデンスに基づいた、たばこ対策の推進         | 個別支援または集団支援を実施している市町村数 | 増加    |
|            | ②禁煙支援体制の整備・充実<br>・市町村・医療機関・事務所等での禁煙支援リーフレットの活用拡大<br>・禁煙支援者の相談技術向上のための研修会の開催<br>・禁煙支援協力薬局の設置・普及<br>・ホームページ等を活用した禁煙支援医療機関・禁煙支援医療機関の情報提供 | 禁煙支援協力薬局数              | 増加    |
|            | ③禁煙支援の推進<br>・市町村たばこ対策分析評価の実施<br>・住民や従業員を対象とした禁煙のスタートを支援する講習会の開催<br>・市町村の検診等での禁煙指導の実施<br>・妊産婦を含めた女性を対象とした禁煙支援の実施                       | ニコチン依存症管理料算定医療機関数      | 増加    |
|            | ④20歳未満の者の喫煙防止対策の強化<br>・20歳未満の者の禁煙支援相談窓口の設置・普及<br>・学校・教育委員会と連携した喫煙防止教育の充実  | 禁煙スタートアップ講習会の実施回数      | 年6回以上 |
|            | ⑤受動喫煙防止対策の推進<br>・市町村庁舎等の禁煙化状況調査の実施、現状の把握<br>・各保健所に相談窓口を設置<br>・健康増進法についての普及啓発及び相談・義務違反対応<br>・国の動向を注視し、情報収集を行う                          | 教職員向けの喫煙防止教育研修会の参加者数   | 増加    |

| 個別施策          | 指標   | 出典                          | 目標値   |
|---------------|--|-----------------------------|-------|
| 2 健康的な生活習慣の普及 | ①減塩対策の充実<br>・「やさしおベジ増し宣言」の定着に向けた普及啓発<br>・減塩教室実施マニュアルの活用促進・地域食育講座の開催<br>・市町村・学校・保育所等と連携した食育の推進<br>・職域と連携した事業所への研修会の開催<br>・食品関連事業者と連携して減塩や野菜摂取量の増加に取り組む「やさしおベジ増しプロジェクト」の推進   | 減塩に関する健康教育を実施する市町村数         | 増加    |
|               | ②適正飲酒についての普及啓発の推進<br>・アルコール関連問題県民セミナー、アルコール関連問題対策研修会の継続開催<br>・市町村、医療機関、薬局等での飲酒量チェックリストの掲示<br>・がん検診、特定健康診査受診時の情報提供<br>・県民公開講座等の講演会の開催<br>・特定健康診査質問票の飲酒項目を効果的に活用するための研修会の開催<br>・適正飲酒に関する保健指導の強化を目的とした研修会の開催<br>・特定健康診査質問票による多量飲酒傾向にある人のスクリーニングの実施<br>・支援ツールを活用した情報提供<br>・支援ツールを用いた個別保健指導 | アルコール関連問題県民セミナーの実施回数        | 年2回以上 |
|               | ③身体活動を増加させるための普及啓発の推進<br>・市町村営の健康ステーションの設置・運営支援<br>・事業所と連携した健康ステーションの設置<br>・職域と連携した事業所への研修会の開催<br>・「おでかけ健康法」の普及啓発のため広報紙、ホームページ等を活用した情報発信   | 活動量計等を使用した身体活動量の増加に取り組む市町村数 | 増加    |
|               | ④適正体重について正しい知識の普及<br>・特定健康診査、がん検診等の機会を活用した普及啓発<br>・職域と連携した事業所への研修会の開催<br>・広報紙、ホームページ等を活用した情報発信   | 協会けんぽ奈良支部「健康まるごと宣言事業所」数     | 増加    |

| 個別施策       | 指標   | 出典                     | 目標値   |
|------------|--|------------------------|-------|
| 3 感染症予防の充実 | ①肝炎対策の強化<br>・保健所の肝炎ウイルス検査体制の強化<br>・肝炎検査受検率向上となる工夫した情報提供<br>・陽性者への医療費助成の継続実施<br>・陽性者の重症化予防対策の促進<br>・肝炎医療コーディネーターの養成と活用促進<br>・肝炎患診連携拠点病院の取組強化(肝炎患相談支援センターにおける相談支援、市町村等への技術支援、地域連携、データ分析の活用)<br>・県内医療機関のネットワークの構築と技術的支援<br>・B型肝炎ワクチンの予防接種の周知<br>・受診者数が増加した市町村の効果的な取組事例をまとめ、市町村への還元<br>・市町村は、他の検(健)診と併せて、受診できる体制整備と、受診すべき対象者を選定した受診勧奨の実施 | HTLV-1母子感染予防対策研修会の実施回数 | 年1回以上 |
|            | ②HTLV-1母子感染予防対策体制の整備<br>・奈良県のHTLV-1母子感染支援体制を整備し構築する<br>・奈良県母子感染予防対策検討会の実施<br>・奈良県HTLV-1母子感染予防対策研修会の開催<br>・母子感染予防マニュアル「HTLV-1母子感染予防対策支援マニュアル 第2版」を改正し周知   | HTLV-1母子感染予防対策研修会の実施回数 | 年1回以上 |
|            | ③HPVの感染予防に関する周知・啓発   |                        |       |

| 中間アウトカム          | 指標  | 出典             | 目標値   |
|------------------|---|----------------|---|
| 禁煙希望者が禁煙できている    | 喫煙率<br>・全体<br>・男性<br>・女性                            | なら健康長寿基礎調査     | 減少<br>・6.3%<br>・11.1%<br>・2.6%                |
|                  | 妊婦喫煙率   | 母子保健事業の実施状況等調査 | 減少  |
|                  | 禁煙支援協力薬局の相談実績数                                      | 奈良県調べ          | 増加  |
| 県民が望まない受動喫煙にあわない | 受動喫煙にあう人の割合<br>・行政機関<br>・医療機関<br>・職場<br>・家庭<br>・飲食店 | なら健康長寿基礎調査     | 減少<br>・0%<br>・0%<br>・12.4%<br>・2.6%<br>・14.8% |

| 中間アウトカム              | 指標   | 出典                            | 目標値 |
|----------------------|--|-------------------------------|-----|
| 県民が生活習慣病予防のための行動がとれる | 成人の1日の食塩摂取量<br>・男性<br>・女性                  | 国民健康・栄養調査(大規模調査:R6年、R10年調査予定) | 7g  |
|                      | 生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合<br>・男性<br>・女性     | なら健康長寿基礎調査                    | 減少  |
|                      | 運動習慣を有する人の割合<br>・男性<br>・女性                 | なら健康長寿基礎調査                    | 増加  |
|                      | ・男性: BMIが21~27の人の割合<br>・女性: BMIが21~25の人の割合 | なら健康長寿基礎調査                    | 増加  |

| 中間アウトカム            | 指標                                  | 出典    | 目標値 |
|--------------------|-------------------------------------|-------|-----|
| 県民が感染症予防のための行動がとれる | B型肝炎定期予防接種実施率                       | 奈良県調べ | 増加  |
|                    | 肝炎ウイルス検診受診者累積数(市町村実施)<br>・B型<br>・C型 | 奈良県調べ | 増加  |
|                    | 肝炎ウイルス検査受検者累積数(保健所実施)<br>・B型<br>・C型 | 奈良県調べ | 増加  |
|                    | HPVワクチンの実施率                         | 奈良県調べ | 増加  |

| 分野別アウトカム          | 指標   | 出典           | 目標値 |
|-------------------|--|--------------|-----|
| がん罹患率が減少している      | がん年齢調整罹患率  | 全国がん登録奈良県報告書 | 減少  |
| がんに関する正しい知識を持っている | 生活習慣の中でがん予防に効果があると回答した人の割合<br>禁煙<br>適度な運動<br>塩分摂取量を減らす<br>過度な飲酒をしない<br>感染症予防 | なら健康長寿基礎調査   | 増加  |

| 最終アウトカム                                     | 指標                                     | 出典                        | 目標値  |
|---|--|---------------------------|------|
| 県民ががんにならない、がんで亡くならない                        | がん75歳未満年齢調整死亡率                         | 人口動態統計                    | 52.8 |
| すべての県民ががんを正しく知り、がん向き合い、地域共生社会の中で、自分らしく生きられる | 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合             | ならのがんに関する患者意識調査(次回調査から把握) | 増加   |
|   | (参考指標)<br>現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 | 患者体験調査                    | 増加   |

色付きの項目については、令和5年度に改定する他の計画等の内容を踏まえて、改正する。

| 計画名                         | 案の完成時期(予定) | 策定時期(予定)   |
|-----------------------------|------------|------------|
| なら健康長寿基本計画(第2期)第4期奈良県食育推進計画 | R5.12      | R6.3下旬     |
| 奈良県アルコール健康障害対策推進計画          | R5.12      | R6.3下旬     |
| 奈良県肝炎対策ガイドライン               | R5.9~10    | R5.11~R6.1 |

## ②がんの早期発見

| 個別施策          | 指標   | 出典                                   | 目標値 |
|---------------|--|--------------------------------------|-----|
| 1 がん検診の受診促進   | ①県民に対するがん検診受診啓発<br>・広報紙、インターネットを活用した普及啓発<br>・奈良県民会議会員による街頭キャンペーンの実施  | 奈良県調べ                                | 増加  |
|               | ②企業と連携したがん検診受診啓発<br>・奈良県がん検診応援団新規会員加入に向けた周知<br>・企業との連携による効果的な受診勧奨ツールの作成及び啓発  | 奈良県調べ                                | 増加  |
|               | ③がん検診受診勧奨を推進するための人材育成<br>・市町村におけるがん予防推進員の養成<br>・企業・団体等と連携した人材育成  | 市町村がん検診実施体制アンケート                     | 増加  |
|               | ④受診率向上に向けた市町村支援<br>・個別受診勧奨・再勧奨の実施方法の検討、評価<br>・受診しやすい体制整備<br>・好事例の紹介  | セット検診を実施している市町村数<br>・男性3がん<br>・女性5がん | 増加  |
|               |  | 休日検診を実施している市町村数<br>・集団<br>・個別        | 増加  |
|               |  | 早期又は夜間検診を実施している市町村数                  | 増加  |
|               |  | 特定健診と同時実施している市町村数<br>・集団<br>・個別      | 増加  |
|               |  | 職域検診(被扶養者健診等)と同時実施している市町村数<br>・集団    | 増加  |
| 個別施策          | 指標   | 出典                                   | 目標値 |
| 2 がん検診精度管理の充実 | ①がん検診従事者の資質向上<br>・発見がん症例の追跡調査方法の検討、実施<br>・症例検討会の開催<br>・精度管理向上のための従事者研修会の開催   |                                      |     |
|               | ②がん検診精度管理状況の把握及び評価<br>・市町村がん検診結果の把握及びプロセス指標の評価<br>・市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査結果の把握及び評価<br>・集団検診実施機関を対象とした精度管理調査の実施及び評価<br>・個別検診実施機関を対象とした精度管理調査方法の検討<br>・都道府県及び生活習慣病検診等管理指導協議会(各がん検診部会)の活動状況調査の報告<br>・精密検査医療機関の登録要件の定期的な確認 | 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査       | 増加  |
|               | 指針に基づかないがん検診を実施している市町村数  | がん検診等事業運営調査(市区町村におけるがん検診の実施状況調査)     | 減少  |

| 中間アウトカム              | 指標   | 出典       | 目標値 |
|----------------------|--|----------|-----|
| がん検診を受けやすい体制が整備されている | がん検診受診率<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん | 国民生活基礎調査 | 60% |

| 分野別アウトカム         | 指標   | 出典           | 目標値 |
|------------------|--|--------------|-----|
| がんが早期の段階で発見されている | がん検診における早期がんの割合<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん | 市町村がん検診結果報告  | 増加  |
| がんが早期の段階で診断されている | がん登録における早期がんの割合<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん | 全国がん登録奈良県報告書 | 増加  |

| 最終アウトカム              | 指標             | 出典     | 目標値  |
|----------------------|----------------|--------|------|
| 県民ががんにならない、がんで亡くならない | がん75歳未満年齢調整死亡率 | 人口動態統計 | 52.8 |

| 中間アウトカム            | 指標  | 出典          | 目標値 |
|--------------------|---|-------------|-----|
| 県民が精度の高いがん検診が受けられる | 精検受診率<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん  | 市町村がん検診結果報告 | 90% |
|                    | 精検未受診率<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん | 市町村がん検診結果報告 | 5%  |
|                    | 精検未把握率<br>・胃がん<br>・肺がん<br>・大腸がん<br>・乳がん<br>・子宮頸がん | 市町村がん検診結果報告 | 5%  |

### ③がん医療の充実

| 個別施策   | 指標  | 出典  | 目標値                |    |
|--|---|---|--------------------|----|
| 1 がん医療提供体制の充実・がん医療の質の向上(小児・AYA世代や高齢者等のがん医療の連携促進)   | ①拠点病院等の体制整備の充実<br>・拠点病院等の適切な人材配置等の指定要件の定期的な確認<br>・拠点病院等の実地調査の実施<br>・拠点病院等の研修会等の取組支援<br>・県拠点病院を中心とした病院間のネットワークの強化<br>・感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制の確保 | 拠点病院等の指定要件充足状況について実地調査の実施                               | 奈良県調べ<br>1回/年      |    |
|  |   | 拠点病院等・支援病院の病理診断医師数                                      | 現況報告<br>増加         |    |
|  |   | BCPを整備している拠点病院等・支援病院の割合                                 | 現況報告<br>増加         |    |
|  | ②手術療法、放射線療法、薬物療法等の提供体制の充実<br>・県拠点病院での人材の育成<br>・拠点病院等での術中迅速病理診断や遠隔病理診断の実施体制の整備<br>・放射線治療の連携体制の充実(放射線治療におけるメール会議の実施)<br>・多地点Webカンファレンス(薬物療法)の継続実施           | 厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)の手術部位について登録している拠点病院等・支援病院の割合 | 現況報告               | 増加 |
|  |   | 放射線治療専門医師数  | 日本放射線腫瘍学会作成のホームページ | 増加 |
|  |   | がん放射線療法看護認定看護師が配置されている拠点病院等・支援病院の割合                     | 現況報告               | 増加 |
| がん化学療法看護認定看護師またはがん薬物療法看護認定看護師が配置されている拠点病院等・支援病院の割合   |   | 現況報告  | 増加                 |    |
| ③チーム医療提供体制の充実<br>・多職種でのカンファレンスの実施<br>・薬物療法等の医療チーム研修会の継続実施<br>・医科歯科連携の充実<br>・拠点病院におけるがんのリハビリテーション体制の整備      | がん診療連携登録歯科医の人数  | 国立がん研究センター作成のホームページ                                     | 増加                 |    |
|  | 周術期等口腔機能管理計画策定料を算定している医療機関数   | 近畿厚生局   | 増加                 |    |
|  | 拠点病院でのがんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識および技能を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の人数  | 現況報告  | 増加                 |    |
| ④がんゲノム医療提供体制の充実<br>・県内でのがん薬物療法専門医の育成<br>・拠点病院等へがん薬物療法専門医の配置  | がん薬物療法専門医師数   | 日本臨床腫瘍学会作成のホームページ                                       | 増加                 |    |
|  | がん薬物療法専門医が配置されている拠点病院等・支援病院の割合  | 日本臨床腫瘍学会作成のホームページ                                       | 増加                 |    |
| ⑤小児・AYA世代のがん医療の連携促進<br>・協力連携体制の強化となる「近畿ブロック小児がん診療病院連絡会」に継続し参画<br>・小児がん医療にかかる情報提供や相談窓口の充実<br>・国の施策の情報を収集・検討 | 多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等・支援病院の割合   | 現況報告  | 増加                 |    |
| ⑥高齢者のがん対策の推進<br>・関係する診療科と連携する体制の確保<br>・国の施策の情報を収集・検討   |   |   |                    |    |

| 中間アウトカム  | 指標  | 出典  | 目標値 |
|--|---|---|-----|
| がん患者が各療法について、県内で安全で質の高い医療を受けられる                    | 悪性腫瘍手術の実施件数<br>※人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分)            | 医療施設調査  | 増加  |
|  | 放射線治療(体外照射)の実施件数<br>※人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分)       | 医療施設調査  | 増加  |
|  | 外来化学療法の実施件数<br>※人口10万人あたりの実施件数(1ヶ月分)            | 医療施設調査  | 増加  |
|  | 県内のがん患者が拠点病院等・支援病院に受診している割合                     | 院内がん登録全国集計(国立がん研究センター作成のホームページ)<br>全国がん登録奈良県報告書 | 増加  |
| がん患者が必要な時にサポートを受けられるチーム医療体制が整備され、医療従事者間の連携が強化されている | 周術期等口腔機能管理計画策定料の算定件数                            | NDB   | 増加  |
|  | がんゲノム医療拠点病院でのがんゲノム遺伝子パネル検査実績                    | 現況報告(がんゲノム)                                     | 増加  |
|  | がん患者が診断・治療に関わる医師、看護師、他の医療スタッフは十分に連携していると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査                                 | 増加  |

| 分野別アウトカム                 | 指標   | 出典                       | 目標値             |
|--------------------------|--|--------------------------|-----------------|
| がん患者が安全かつ安心な質の高い医療を受けられる | 5年相対生存率  | 全国がん登録奈良県報告書             | 増加              |
|                          | がん患者が納得した治療を選択できている                            | 医師による診療・治療内容に満足している患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 |
|                          | 診断や治療方針について、自分の疑問や意見を十分に医師に伝えられたと思う患者の割合       | ならのがんに関する患者意識調査          | 増加              |
|                          | がんの診断から治療開始までの状況を総合的に振り返り、納得いく治療を選択できたと思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査          | 増加              |

| 最終アウトカム   | 指標                     | 出典              | 目標値  |
|---|------------------------|-----------------|------|
| 県民ががんにならない、がんで亡くならない                              | がん75歳未満年齢調整死亡率         | 人口動態統計          | 52.8 |
| すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる | これまで受けた治療に納得していると回答の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加   |

|   |  |       |      |
|---|--|-------|------|
| ⑦その他がん医療の実施に向けた検討<br>・国の施策の情報を収集<br>・がん診療連携協議会への情報提供と検討   |  |       |      |
| ⑧拠点病院等のがん医療の評価・分析<br>・拠点病院等の実地調査による医療提供体制の実態把握及び評価分析<br>・がん治療における安全上の問題の把握<br>・業務改善のためのPDCAサイクルによる評価・分析             | 国立がん研究センターのQI研究に参加している拠点病院等・支援病院の割合        | 現況報告  | 増加   |
|   | 日本医療機能評価機構の審査等の第三者による評価を受けている拠点病院等・支援病院の割合 | 現況報告  | 増加   |
| ⑨医療関係者へのがん診療情報の見える化<br>・拠点病院等の取組や人材配置等の比較や好事例の公表<br>・拠点病院等に向けたがん診療機能・実績等情報のとりまとめ<br>・とりまとめ結果をがん診療連携協議会等機会を捉えフィードバック | 実地調査の結果について、がん診療連携協議会等への報告                 | 奈良県調べ | 1回/年 |

| 個別施策              | 指標   | 出典   | 目標値                   |
|-------------------|--|--|-----------------------|
| 2 患者目線でのがん診療情報の提供 | ①拠点病院等におけるデジタル化の推進<br>・拠点病院において、患者等が利用可能なインターネット環境の整備  | 患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している拠点病院等・支援病院の割合                     | 現況報告<br>増加            |
|                   | ②がん診療情報の提供内容及び周知の充実<br>・拠点病院自らが、院内がん登録情報等を活用し、がん診療情報等を公表<br>・国等の最新情報の把握・とりまとめ<br>・実態把握のための「ならのがんに関する患者意識調査」等アンケート調査の継続実施<br>・医療従事者からの情報提供の強化<br>・がん薬物療法の副作用に関する情報提供の強化<br>・「療養ガイド」の改定・配布<br>・「がんネットなら」などによる情報の周知<br>・がん診療連携協議会と連携した、診断時からの情報提供の強化<br>・患者に必要な医療情報等を拠点病院と連携し地域に向けて情報発信 | 集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する冊子や視覚教材等がオンラインでも確認できる拠点病院等・支援病院の数 | 現況報告<br>増加            |
|                   |  | 担当医からセカンドオピニオンの説明を受けた患者の割合                                     | ならのがんに関する患者意識調査<br>増加 |
|                   | ③妊孕性温存療法に関する周知の充実<br>・妊孕性温存療法に要する費用の一部助成の実施<br>・温存後生殖補助医療に要する費用の一部助成の実施<br>・オンライン診療において妊孕性温存に関する相談を実施<br>・県民への普及啓発の実施  | 妊孕性温存療法に関する啓発リーフレットの配布医療機関数                                    | 奈良県調べ<br>増加           |

| 中間アウトカム                         | 指標                                   | 出典              | 目標値 |
|---------------------------------|--------------------------------------|-----------------|-----|
| がん患者やその家族ががん医療について必要な情報提供を受けている | がん治療を決めるまでの間、医師等からほしい情報を得られたと思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                 | がん治療方法についての情報が不十分であると思う患者の割合         | ならのがんに関する患者意識調査 | 減少  |
|                                 | 病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分であると思う患者の割合   | ならのがんに関する患者意識調査 | 減少  |
|                                 | 「がんネットなら」の認知度                        | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                 | 「がんネットなら」のページビュー数                    | 奈良県調べ           | 増加  |
|                                 | 医師から不妊への影響について説明を受けた割合(40歳未満)        | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                 | 妊孕性温存相談窓口における相談件数                    | 奈良医大調べ          | 増加  |
|                                 | 妊孕性温存療法の費用助成件数                       | 奈良県調べ           | 増加  |

④がんと診断された時からの緩和ケア

| 個別施策   | 指標  | 出典                             | 目標値 |
|--|---|--------------------------------|-----|
| 1 緩和ケア提供体制の充実  | ①拠点病院等の緩和ケア提供体制の質の向上<br>・がん診療連携拠点病院等でのがん患者カウンセリングの実施促進<br>・地域と連携した緩和ケア外来の利用促進<br>・緩和ケアチーム研修会の実施<br>・診断時からの苦痛のスクリーニング等、緩和ケア提供体制に関する評価・分析・公表<br>・緩和ケア提供体制の指定要件の確認及び評価・分析<br>・業務改善のためのPDCAサイクルによる評価・分析 | がん看護専門看護師が配置されている拠点病院等・支援病院の割合 | 増加  |
|  |   | 緩和ケア認定看護師が配置されている拠点病院等・支援病院の割合 | 増加  |
|  |   | 緩和ケアチーム研修会の参加医療機関数             | 増加  |
|  |   | がん患者指導管理料イを算定している医療機関数         | 増加  |
|  |   | がん患者指導管理料ロを算定している医療機関数         | 増加  |
|  |   | 栄養サポートチーム加算を算定している医療機関数        | 増加  |
| ②医療従事者への緩和ケア研修会の充実<br>・拠点病院等の医師の緩和ケア研修の受講の徹底<br>・看護師等のための緩和ケア研修会の実施<br>・がん性疼痛のための医療用麻薬適正使用推進講習会の受講促進 | 拠点病院等・支援病院における、1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の緩和ケア研修会受講率   | 90%                            |     |
|  | 看護師等の緩和ケア研修会(ELNEC-J)の受講者数  | 増加                             |     |
|  | がん性疼痛のための医療用麻薬適正使用推進講習会の受講者数  | 増加                             |     |
| 個別施策   | 指標  | 出典                             | 目標値 |
| 2 緩和ケアの理解促進と情報提供の充実  | ①緩和ケアに関する情報の充実、普及啓発<br>・「がんネットなら」「がん患者さんのための療養ガイド」等の内容の充実<br>・拠点病院等の地域に向けた公開講座の実施<br>・患者に必要な医療情報等を拠点病院等と連携し地域に向けて情報発信   | 拠点病院等における公開講座の実施回数             | 増加  |

※がん患者指導管理料イ:医師が看護師と共同して診療方針等について話し合い、その内容を文書等により提供した場合  
 ※がん患者指導管理料ロ:医師、看護師又は公認心理師が心理的不安を軽減するための面接を行った場合

| 中間アウトカム                               | 指標                               | 出典 | 目標値 |
|---------------------------------------|----------------------------------|----|-----|
| 質の担保された緩和ケア提供体制(緩和ケア外来、チーム医療)が整備されている | 拠点病院等・支援病院における緩和ケアチームの年間新規紹介患者数  | 増加 |     |
|                                       | 拠点病院等・支援病院における緩和ケア外来患者の年間新規診療症例数 | 増加 |     |
|                                       | 拠点病院等・支援病院における緩和ケア外来患者の年間受診患者のべ数 | 増加 |     |
|                                       | がん患者指導管理料イの算定件数                  | 増加 |     |
|                                       | がん患者指導管理料ロの算定件数                  | 増加 |     |
|                                       | 栄養サポートチーム加算の算定件数                 | 増加 |     |

| 中間アウトカム                   | 指標                               | 出典 | 目標値 |
|---------------------------|----------------------------------|----|-----|
| 県民ががん患者の緩和ケアについて正しく理解している | 緩和ケアについて知っている患者の割合               | 増加 |     |
|                           | 緩和ケアはがんと診断された時から受けるものだ知っている患者の割合 | 増加 |     |
|                           | 「がんネットなら」の認知度                    | 増加 |     |
|                           | 「がんネットなら」のページビュー数                | 増加 |     |

| 分野別アウトカム                   | 指標                                      | 出典 | 目標値 |
|----------------------------|---|----|-----|
| がん患者の身体的、精神的、社会的苦痛が緩和されている | ・からだの苦痛に対する緩和ケアが希望に応じてすぐに提供されたと思う患者の割合  | 増加 |     |
|                            | ・からだの苦痛が改善されたと思う患者の割合                   | 増加 |     |
|                            | ・気持ちのつらさに対する緩和ケアが希望に応じてすぐに提供されたと思う患者の割合 | 増加 |     |
|                            | ・気持ちのつらさが改善されたと思う患者の割合                  | 増加 |     |

※社会的苦痛については「がん患者等の社会的な問題への対策」に記載することとする

| 最終アウトカム   | 指標                        | 出典 | 目標値 |
|---|---------------------------|----|-----|
| すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる | これまで受けた治療に納得していると回答のあった割合 | 増加 |     |

⑤地域連携

| 個別施策                 | 指標  | 出典   | 目標値                |
|----------------------|---|--|--------------------|
| 1 拠点病院等の地域連携体制の充実    | ①拠点病院等と病連携・病診連携の促進<br>・地域の多職種連携カンファレンスの実施<br>・地域連携会議の実施<br>・医療圏内の診療所に対し、がん診療等に関するアンケート調査を実施             | 拠点病院等・支援病院における緩和ケアに関する多職種カンファレンスに参加した年間回数      | 現況報告<br>増加         |
|                      | ②がん患者の口腔ケアの医科歯科連携の充実<br>・登録歯科医にかかる課題把握<br>・登録歯科医のスキルアップ研修会の実施<br>・医科歯科連携を促進するための研修会の実施<br>・県民への周知強化     | 連携歯科医療機関数<br><br>周術期口腔機能管理料（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）を算定している医療機関数 | 奈良県調べ<br><br>近畿厚生局 |
| 個別施策                 | 指標  | 出典   | 目標値                |
| 2 在宅緩和ケア提供体制の整備及び充実  | ①在宅医療機能の把握・公表<br>・拠点病院等が在宅緩和ケアに対応できる診療所等の在宅医療機能の把握・公表<br>・県内の病院等の在宅医療の取組の把握<br>・「がんネットなら」等での在宅医療機能の情報提供 | 拠点病院等が把握している在宅緩和ケアが提供できる診療所数                   | 現況報告<br>増加         |
|                      |   | 在宅療養支援病院・診療所数                                  | 近畿厚生局<br>増加        |
|                      |   | 機能強化型在宅療養支援病院・診療所数                             | 近畿厚生局<br>増加        |
|                      |   | 在宅療養支援歯科診療所数                                   | 近畿厚生局<br>増加        |
|                      | ②在宅緩和ケアに関わる人材育成<br>・地域のかかりつけ医等への在宅緩和ケア研修会の実施<br>・がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会の実施                            | 在宅緩和ケア研修会の実施回数                                 | 奈良県調べ<br>1回/年      |
|                      |   | がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会の実施回数                  | 奈良県調べ<br>6回/年      |
| 個別施策                 | 指標  | 出典   | 目標値                |
| 3 がん患者や県民への情報提供と普及啓発 | ①在宅療養生活に役立つ情報内容の充実<br>・「がんネットなら」や広報誌等での普及啓発   |  |                    |

| 中間アウトカム                   | 指標   | 出典                    | 目標値 |
|---------------------------|--|-----------------------|-----|
| 拠点病院等とかかりつけ医の連携体制が整備されている | 病院から診療所・在宅医療（看護も含む）へ移った際、病院での情報（診療方針）が診療所、訪問看護ステーションに円滑に伝わったと思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査<br>増加 |     |
|                           | 医科歯科連携数  | 奈良県調べ<br>増加           |     |
|                           | 周術期口腔機能管理料（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）の算定件数   | NDB<br>増加             |     |
| 中間アウトカム                   | 指標   | 出典                    | 目標値 |
| 在宅緩和ケア提供体制が整備されている        | 拠点病院等・支援病院における地域の医療機関から緩和ケア外来への年間新規紹介患者数                             | 現況報告<br>増加            |     |
|                           | 拠点病院等・支援病院における地域の医療機関から緩和ケア外来への年間受診患者のべ数                             | 現況報告<br>増加            |     |

| 中間アウトカム                              | 指標                             | 出典                    | 目標値 |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------------------|-----|
| がん患者やその家族が地域連携や在宅医療について必要な情報提供を受けている | 自宅での療養生活についての情報が不十分であると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査<br>減少 |     |
|                                      | 「がんネットなら」の認知度                  | ならのがんに関する患者意識調査<br>増加 |     |
|                                      | 「がんネットなら」のページビュー数              | 奈良県調べ<br>増加           |     |

| 分野別アウトカム                                       | 指標                              | 出典                              | 目標値 |
|--|---------------------------------|---------------------------------|-----|
| がん患者が居住する地域にかかわらず、質の高い医療を受け、望む場所で療養生活を送ることができる | 自分の望む場所で療養生活を送ることが可能であると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査（次回調査から把握）<br>増加 |     |

| 最終アウトカム   | 指標                    | 出典                    | 目標値 |
|---|-----------------------|-----------------------|-----|
| すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる | これまで受けた治療に納得している回答の割合 | ならのがんに関する患者意識調査<br>増加 |     |

⑥相談支援及び情報提供

| 個別施策                      | 指標   | 出典                                  | 目標値            |
|---------------------------|--|-------------------------------------|----------------|
| 1 相談支援機能の強化(小児・AYA世代、高齢者) | ①がん相談支援センターの利用促進と相談支援の質の向上<br>【利用促進】<br>・拠点病院等院内での広報<br>・拠点病院等の主治医等による患者への周知<br>・県民だより等、県広報を通じた周知<br>・院内職員に対するがん相談支援センターの周知<br>・がん相談支援センターと院内診療従事者が協働し、患者・家族ががん相談支援センターを訪問する仕組みの構築<br>【質の向上】<br>・国立がん研究センター相談員指導者研修等の継続受講<br>・拠点病院等による、相談員を対象とした研修会の実施<br>・がん相談支援センター利用者満足度調査の実施 | 現況報告                                | 増加             |
|                           | ②小児・AYA世代・家族支援体制の強化<br>・若年世代に対するがん相談支援センターの周知方法の検討<br>・小児・AYA世代のがん患者のニーズの情報収集と交流会の実施<br>・アピアランスケアに対応した相談窓口の設置<br>・妊孕性温存相談窓口の設置   | 多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等・支援病院の割合 | 増加             |
|                           | ③高齢者に応じた相談支援体制<br>・高齢者に応じた相談窓口の検討と整備<br>・意思決定支援が可能となるための方法の検討  |                                     |                |
|                           | ④がん患者サロンの充実・強化<br>・ピア・サポーター、患者会との連携方法について検討<br>・がん患者サロンの開催<br>・相談員の情報共有の場「がん患者サロン運営者会議」の実施<br>・拠点病院がピア・サポーターと連携し「運営会議」を実施<br>・がん患者サロンの利用者拡大のための周知<br>・国のピア・サポート活動実態調査や養成研修の見直し結果に基づいたピア・サポーターの養成<br>・がん患者団体の活動発表や情報交換の場の提供促進   | がん患者サロンの実施回数<br>・拠点病院等・支援病院<br>・保健所 | ・9回/月<br>・6回/年 |
|                           |  | ピア・サポーター登録者数                        | 増加             |
| 個別施策                      | 指標   | 出典                                  | 目標値            |
| 2 患者目線での情報提供の充実           | ①患者に必要ながんに関する情報の見える化<br>・診療実態データの把握・分析<br>・適切でわかりやすい情報提供方法の検討、とりまとめ<br>・がん診療情報の「がんネットなら」での分かりやすい情報提供やリーフレット等での周知<br>・拠点病院自らが、院内がん登録情報等を活用し、がん診療情報等を公表<br>・実態把握のための「ならのがんに関する患者意識調査」等アンケート調査の継続実施<br>・最新情報の把握、とりまとめ   |                                     |                |
|                           | ②多様なツールを活用したがんに関する情報の周知強化<br>・「がんネットなら」や「療養ガイド」、県民だより等での情報提供<br>・医療従事者を対象に「がんネットなら」などの情報の周知強化<br>・患者に必要な医療情報等を拠点病院と連携し地域に向けて情報発信   |                                     |                |

| 中間アウトカム                  | 指標                 | 出典    | 目標値 |
|--------------------------|--------------------|-------|-----|
| 質の高い相談支援を受けられる体制が整備されている | がん患者サロンの利用者数       | 奈良県調べ | 増加  |
|                          | がん相談支援センターでの新規相談件数 | 現況報告  | 増加  |
|                          | がん相談支援センターの利用者数    | 奈良県調べ | 増加  |

| 分野別アウトカム                  | 指標  | 出典              | 目標値 |
|---------------------------|---|-----------------|-----|
| がん患者の不安や悩みが相談支援により軽減されている | からだや治療のことで心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある患者の割合    | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                           | がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの相談支援によって軽減されたと思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |

| 最終アウトカム   | 指標                                     | 出典                        | 目標値 |
|---|--|---------------------------|-----|
| すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる | これまで受けた治療に納得していると回答のあった患者の割合           | ならのがんに関する患者意識調査           | 増加  |
| すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で、自分らしく生きられる      | 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合           | ならのがんに関する患者意識調査(次回調査から把握) | 増加  |
|   | (参考指標)<br>現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 | 患者体験調査                    | 増加  |

| 中間アウトカム                          | 指標   | 出典              | 目標値 |
|----------------------------------|--|-----------------|-----|
| がん患者やその家族が治療や相談について必要な情報提供を受けている | がん相談支援センターの認知度                                   | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                  | がん患者サロンの認知度                                      | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                  | 「がんネットなら」の認知度                                    | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                                  | 「がんネットなら」のページビュー数                                | 奈良県調べ           | 増加  |
|                                  | がんに関する情報(治療方法、診療体制、治療費用、社会保障制度など)が不十分であると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 減少  |

⑦がん患者等の社会的な問題への対策

| 個別施策  | 指標  | 出典     | 目標値 |
|---|---|--------|-----|
| 1 がん患者の治療と仕事や学業の両立支援体制の整備                     | ①治療と仕事の両立支援<br>【治療と仕事の両立支援の充実】<br>・拠点病院の就労相談の継続実施<br>・相談窓口周知リーフレットの配布<br>・医療従事者の理解促進のための研修会の実施<br>・相談員の資質向上のための研修会の実施<br>・社会保険労務士・相談員の情報交換会の実施<br>【事業所の両立支援体制の整備の推進】<br>・全国健康保険協会奈良県支部等団体と連携した事業者への啓発(講演会・啓発等)<br>・奈良県産業保健総合支援センター事業所向けセミナーや産業医等への研修等への周知<br>・奈良労働局の「地域両立支援推進会議」の実施 | 職場環境調査 | 増加  |
|   | ②がん患者の治療と学業の両立支援<br>・特別支援学校における病弱教育部門のセンター機能の周知<br>・公立学校の特別支援教育コーディネーターの周知<br>・高等学校、小中学校の教育におけるICT体制整備の周知<br>・教育担当者連絡会議等の開催   |        |     |
| 個別施策  | 指標  | 出典     | 目標値 |
| 2 その他ライフステージに応じた社会的な問題(アピアランスケア・妊孕性温存療法等)への支援 | ①アピアランスケアの充実<br>・拠点病院におけるアピアランスケアの相談の実施<br>・市町村によるアピアランスケア支援事業(補整具等の助成制度)の拡充<br>・アピアランスケア支援事業を実施する市町村への支援   | 奈良県調べ  | 増加  |
|   | ②妊孕性温存療法・温存後生殖補助医療相談体制の充実<br>・拠点病院における妊孕性温存に関する相談の実施<br>・妊孕性温存療法に要する費用の一部助成<br>・温存後生殖補助医療に要する費用の一部助成  | 奈良県調べ  | 増加  |
|   | ③がん診断後の自殺対策の充実<br>・緩和ケア研修会の実施<br>・拠点病院の自殺リスクに関する研修の実施<br>・診療方針に関する患者の意思決定に対する支援<br>・患者の心理的不安を軽減するための面接の実施(看護師、公認心理士)  | 現況報告   | 増加  |
|   | がん患者指導管理料イを算定している医療機関数  | 近畿厚生局  | 増加  |
|   | がん患者指導管理料ロを算定している医療機関数  | 近畿厚生局  | 増加  |
|   | 拠点病院等・支援病院における、1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師の緩和ケア研修会受講率   | 現況報告   | 90% |

| 中間アウトカム                              | 指標                                  | 出典    | 目標値 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------|-----|
| がん患者が治療と仕事や学業の両立に対し必要な支援を受けられる       | がん相談支援センターにおける「社会生活(仕事・治療)」に関する相談件数 | 現況報告  | 増加  |
|                                      | がん相談支援センターにおける「社会生活(学業)」に関する相談件数    | 現況報告  | 増加  |
| 中間アウトカム                              | 指標                                  | 出典    | 目標値 |
| がん患者がライフステージに応じた社会的な問題に対し必要な支援を受けられる | がん相談支援センターにおける「アピアランスケア」に関する相談件数    | 現況報告  | 増加  |
|                                      | アピアランスケア支援事業における費用助成件数              | 奈良県調べ | 増加  |
|                                      | がん相談支援センターにおける「妊孕性・生殖機能」に関する相談件数    | 現況報告  | 増加  |
|                                      | 妊孕性温存療法の費用助成件数                      | 奈良県調べ | 増加  |

| 分野別アウトカム              | 指標                                    | 出典              | 目標値 |
|-----------------------|---------------------------------------|-----------------|-----|
| がん患者の抱える社会的苦痛が軽減されている | 現在、仕事を継続しているがん患者の割合                   | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |
|                       | 経済的支援や利用できる社会保障制度などの情報が不十分であると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 減少  |
|                       | がん治療による外見の変化に関する悩みを相談できた患者の割合         | ならのがんに関する患者意識調査 | 増加  |

| 最終アウトカム                                     | 指標                                 | 出典                        | 目標値 |
|---|------------------------------------|---------------------------|-----|
| すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる | 現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合       | ならのがんに関する患者意識調査(次回調査から把握) | 増加  |
|   | (参考指標)現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合 | 患者体験調査                    | 増加  |

※がん患者指導管理料イ: 医師が看護師と共同して診療方針等について話し合い、その内容を文書等により提供した場合  
 ※がん患者指導管理料ロ: 医師、看護師又は公認心理師が心理的不安を軽減するための面接を行った場合

⑧がん登録

| 個別施策                      | 指標  | 出典                          | 目標値   |        |
|---------------------------|---|-----------------------------|-------|--------|
| 1 がん登録の精度向上               | ①全国がん登録のスムーズな運営   | 全国がん登録オンラインシステムでの申請可能な医療機関数 | 奈良県調べ | 増加     |
|                           | ②がん登録の精度向上<br>・がん登録担当者研修会の実施  | 研修参加医療機関数                   | 奈良県調べ | 増加     |
| 個別施策                      | 指標  | 出典                          | 目標値   |        |
| 2 がん登録データ等を活用したがん対策の検討・実施 | ①がん登録データの分析<br>・がん登録データ(地域がん登録、院内がん登録、全国がん登録)の把握<br>・各種分析及び評価の結果の公表(報告書作成及びホームページに掲載)<br>・予防・早期発見にかかるデータの把握<br>・多面的ながん関連データの連携・分析           |                             |       |        |
|                           | ②データを活用したがん対策の検討・実施<br>・医療機関や市町村等と連携したデータ分析の検証<br>・死亡率の分析結果や地域別課題に応じたがん対策の検討<br>・市町村や医療関係者に向けた効果的ながん対策の提言<br>・全国がん登録データの提供体制の整備(審議会等の設置・運営) | 保健所による市町村等を対象とした検討会の実施回数    | 奈良県調べ | 3回/年以上 |
|                           |   | 審議会の開催回数                    | 奈良県調べ | 1回/年以上 |
| 個別施策                      | 指標  | 出典                          | 目標値   |        |
| 3 データを活用した情報提供等           | ①患者目線でのがん診療情報の提供<br>・診療実態データの把握・分析<br>・適切でわかりやすい情報提供方法の検討、とりまとめ<br>・診療情報の「がんネットなら」でのわかりやすい情報提供やリーフレット等での周知                                  | 研修会の実施回数                    | 奈良県調べ | 1回/年   |

| 中間アウトカム                      | 指標  | 出典           | 目標値 |
|------------------------------|---|--------------|-----|
| がん登録データの精度が向上し、データを有効活用されている | ・DCN:死亡情報で初めて把握された症例<br>・DCO:死亡情報のみの症例<br>・MI比:死亡/罹患比 | 全国がん登録奈良県報告書 | 減少  |
| 地域でがん登録データが活用しやすい体制が整備されている  | データ活用の件数  | 奈良県調べ        | 増加  |

| 中間アウトカム                   | 指標                             | 出典              | 目標値 |
|---------------------------|--------------------------------|-----------------|-----|
| がん登録に基づいた適切な情報を得ることができている | がんの病態や統計データ等の情報が不十分であると思う患者の割合 | ならのがんに関する患者意識調査 | 減少  |
|                           | 「がんネットなら」ページビュー数(がん登録ページ)      | 奈良県調べ           | 増加  |

⑨ がん教育・知識の普及啓発

| 個別施策                   | 指標   | 出典                              | 目標値                     |
|------------------------|--|---------------------------------|-------------------------|
| 中学校・高等学校におけるがん教育の充実、推進 | ①ICTを活用したがん教育用教材等の作成<br>②外部講師を活用したがん教育の推進  | 中学校・高等学校におけるがん教育教材を活用したがん教育の実施率 | 増加<br>がん教育実施状況調査(教育委員会) |
|                        |  | 中学校・高等学校における外部講師を活用したがん教育の実施率   | 増加<br>がん教育実施状況調査(教育委員会) |
|                        |  | 教員を対象としたがん教育に関する研修会の実施回数        | 1回/年以上<br>奈良県調べ         |
| 個別施策                   | 指標   | 出典                              | 目標値                     |
| 小学校(高学年)におけるがん教育の推進    | ①イベントを活用した小学生へのがん教育の普及啓発<br>②外部講師を活用したがん教育の検討  | 啓発用リーフレットを活用したがんに関する啓発の実施率      | 増加<br>がん教育実施状況調査(教育委員会) |
|                        |  |                                 |                         |
| 個別施策                   | 指標   | 出典                              | 目標値                     |
| がん対策全般に関する普及啓発の推進      | ①がん対策にかかる普及啓発<br>・がん医療等各分野での情報提供の推進<br>・「がんネットなら」を活用した普及啓発の促進<br>・患者団体等の協力を得た普及啓発の実施 |                                 |                         |

| 中間アウトカム       | 指標  | 出典                   | 目標値 |
|---------------|---|----------------------|-----|
| がんに関する知識が向上する | がんは誰もがかかる可能性のある病気であると回答した人の割合                                 | がん教育事前事後アンケート(教育委員会) | 増加  |
|               | たばこを吸わないこと、バランスよく食事をすること、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもあると回答した人の割合 | がん教育事前事後アンケート(教育委員会) | 増加  |
|               | 早期発見すればがんは治りやすいと回答した人の割合                                      | がん教育事前事後アンケート(教育委員会) | 増加  |
|               | がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思うと回答した人の割合                          | がん教育事前事後アンケート(教育委員会) | 増加  |
|               | がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたいと回答した人の割合                              | がん教育事前事後アンケート(教育委員会) | 増加  |
|               | 「がんネットなら」のページビュー数   | 奈良県調べ                | 増加  |